

科目名	作曲理論Ⅳ	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	高橋 裕・武野 晴子	単位	2	年次	2

＝授業科目の目標＝

作曲を学ぶ者が必ず身に着けなければならない二声対位法の厳格な書式を学び、視覚だけではなく、聴覚的にも好ましい、独自の創造性を伴った『対旋律』が書けるようになることが目標である。
カノン、インヴェンションの作曲を試みた後、フーガなどのポリフォニー様式の曲を分析する。

＝履修の条件と学習の方法＝

毎回、課題を提出させます。継続して学ぶことが重要です。
わからないことがあれば常に質問をし、理解をしていくように。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 二声対位法 華麗対旋律（その1）
- 3回 二声対位法 華麗対旋律（その2）
- 4回 二声対位法 華麗対旋律（その3）
- 5回 二声対位法 華麗対旋律（その4）
- 6回 カノンの作成（その1）
- 7回 カノンの作成（その2）
- 8回 カノンの作成（その3）
- 9回 インベンションの作成（その1）
- 10回 インベンションの作成（その2）
- 11回 インベンションの作成（その3）
- 12回 フーガの分析（その1）
- 13回 フーガの分析（その2）
- 14回 フーガの分析（その3）
- 15回 フーガの分析（その4）

＝成績評価の方法と評価の基準＝

平常点（授業への積極的参加姿勢） 50%
提出物、発表 50%

＝テキスト（必携）＝

対位法とフーガ講座 ケルビーニ ARTES